

スズキ、世界一斉清掃活動

「Ocean of Tomorrow: Universal Clean-up Day」を実施



「Ocean of Tomorrow: Universal
Clean-up Day」ロゴ



中田島砂丘の清掃活動

スズキ株式会社は、水辺の環境保全活動「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」の一環として、国内外のスズキ船外機代理店とともに毎年水辺の清掃活動を実施しています。本年度は「Ocean of Tomorrow: Universal Clean-up Day」とし、7月12日に海外を含む代理店や販売店が一斉に海洋清掃活動を行いました。

スズキは2011年より世界各地で水辺の清掃活動「クリーンアップ・ザ・ワールド・キャンペーン」を実施しており、これまでに海外95代理店、累計21,000名以上の方々にこの活動にご参加いただいております。本年度の活動は、スズキの船外機事業60周年記念活動の一環として、マリン事業本部の若手有志メンバーが「明日の海を少しでも良くしたい」という思いを込めて企画し、「Ocean of Tomorrow」と命名して実施いたしました。

今回が初の試みとなる世界一斉清掃活動は、各国の代理店や販売店のみならず、地域の教育機関や自治体とも連携して行われました。また、これまでの個別の清掃活動を上回る規模で実施され、34の国と地域から総計約2,800名が参加し、過去最大の活動となりました。

スズキ株式会社マリン事業本部長 三嶋秀一常務のコメント

スズキの船外機は、水上での「楽しさ」と「働く」を支える頼れるパートナーとして、世界中でご愛用いただいております。私たちは、これからも豊かでクリーンな海洋環境への貢献を目指し、「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」を推進してまいります。

● 「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」について

スズキは世界清掃活動に加え、プラスチック梱包の削減やマイクロプラスチックの回収活動を柱とした「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」を推進しています。2020 年より開始したプラスチック梱包の削減では、本体および部品梱包の合計で 112 トン超を生分解性素材へ切り替えました。さらに、2021 年からは 100 馬力、115 馬力、140 馬力モデルにマイクロプラスチック回収装置を標準搭載しています。

● 世界一斉清掃活動「Ocean of Tomorrow: Universal Clean-up Day」写真



日本



アメリカ



タイ



パラオ

以上